

千葉県営水道事業長期施設整備方針 概要版

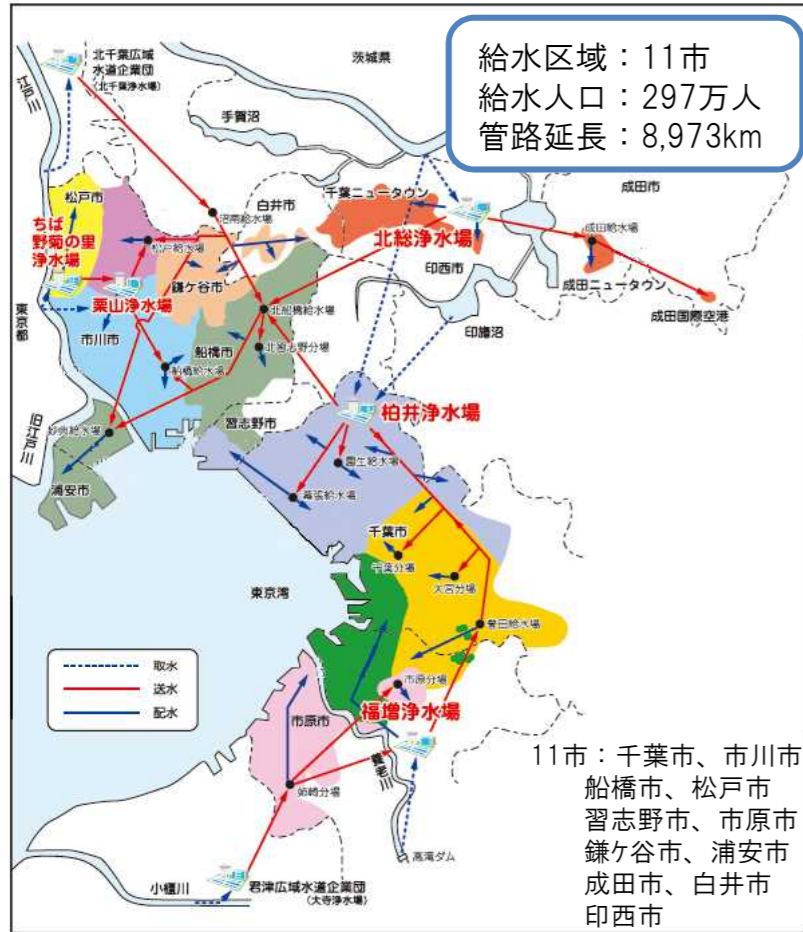
～次世代につなぐ 安全・安心な水道を目指して～

第1章 方針策定の目的と位置づけ

- 目的** 将来にわたり安全な水道水をお客様に安定して供給するためには、確実かつ継続的な施設更新を行っていくことが必要となるため、アセットマネジメントを用いた最適な施設整備手法により、局独自の目標使用年数を定め、財政推計なども踏まえた長期的な整備方針を策定しました。
- 対象期間** 30年間（平成28～57年度）
- 事業実施** 本方針に基づく具体的事業は、中期経営計画に位置付けて確実に実施していきます。

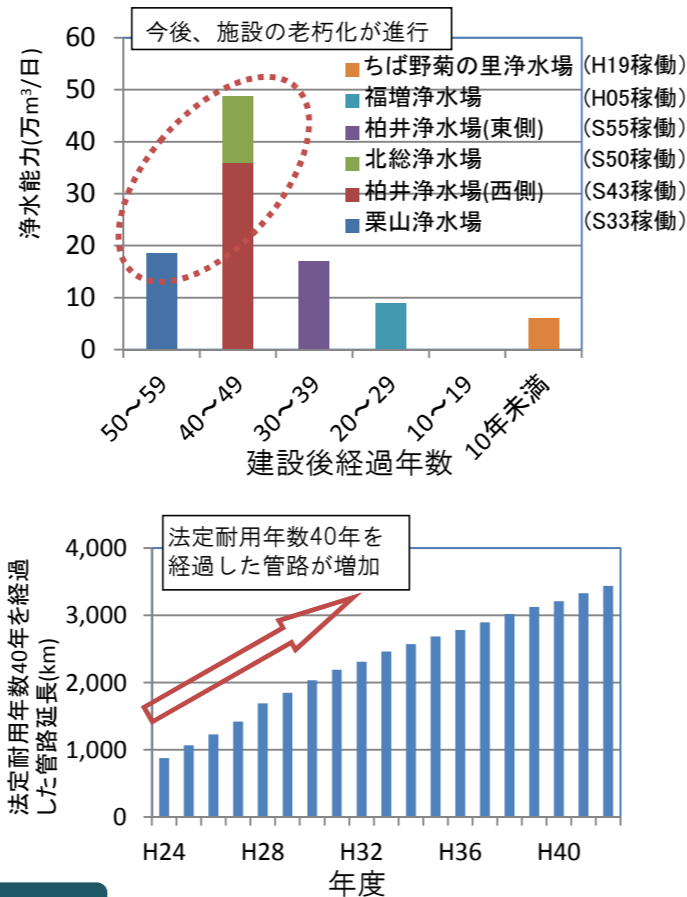
第2章 当局の現状と課題

1 当局の概要(平成26年度末)



2 当局の現状と課題

昭和30年代から50年代にかけて集中的に建設された浄・給水場や管路施設が急速に老朽化していきます。



第3章 長期施設整備方針策定に係る基本条件

1 対象施設

当局の全ての浄・給水場等の施設及び管路施設を方針策定の対象施設とします。

(1) 浄・給水場等

(2) 管路

対象施設	施設数	主な施設名	対象施設	路線数	延長	主な路線名
取水場	4	印旛、木下、高滝、矢切	<導水管>	6	72km	木下・印旛～柏井等
浄水場	6	ちば野菊の里、栗山、柏井(東、西)、北総、福増	<大口径送配水管φ500以上>		598km	
給水場	9	船橋、園生、成田、誉田等	高級鉄管使用	26	109km	一括栗山～船高線等
分場	5	市原、姉崎、千葉、大宮、北習志野	上記以外	—	489km	—
高架水槽	7	栗山、船橋、坂月、辰巳配水塔等	<小口径配水管φ450以下>			
調圧水槽	12	印旛系、柏井系、北総系等	ダクタイル鉄管等	—	8,303km	—
計	43		計		8,973km	平成26年度末現在

2 目標使用年数

水道施設には、法定耐用年数を超えても十分に使用できるものがあるため、局独自に施設毎の目標使用年数を定め更新していきます。

- 浄・給水場等
 - ✓ 土木・建築・鋼構造物:60～80年
 - ✓ 電気・機械・計装設備:15～30年
- 管路施設 60～80年

3 必要施設能力

更新期間中の施設能力低下や突発事故等に対応するため、現在確保している必要施設能力を維持していきます。

1,276,800m³/日
(適宜見直しを行い、適正規模について十分配慮しながら整備を行います。)

第4章 具体的な実現方策

1 老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ■長寿命化 ■計画的更新 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な点検、修繕の実施 目標使用年数、老朽度・重要度等、施設の実情を踏まえた更新
2 危機管理対策	<ul style="list-style-type: none"> ■施設耐震化 	<ul style="list-style-type: none"> 浄・給水場等重要施設における耐震化の更なる推進 管路耐震化の更なる推進
3 安全でおいしい水の安定供給と健全経営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■高度浄水処理導入 ■効率的経営 	<ul style="list-style-type: none"> 安全でおいしい水の安定供給 事業の平準化、効率的執行、補助金等の活用多様な業務手法の検討

第5章 施設の更新・整備スケジュール及び事業費

平成	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
スケジュール	ちば野菊(浄)整備 栗山(浄)配水場化											浄水場・取水場の更新					印旛(取) 木下(取)													
	給水場・分場の更新											園生(給)、船橋(給)千葉(分) 市原(分)、大宮(分)					菅田(給)、成田(給)、北船橋(給) 姉崎(分)、北習志野(分)													
	木下(取)～柏井(浄)											導水管の更新					木下(取)～北総(浄)													
	(高級鉄管使用路線) 一括栗山～船高線、一括園生～登戸線、等											大口径送配水管の更新					(ダクタイル鉄管使用路線)													
事業費	小中口径管の更新																													
	浄給水場	約900億円										約500億円										5年毎に策定する中期経営計画に併せて推計していきます。								
	管路施設	約1,200億円										約1,600億円																		
計	約2,100億円										約2,100億円																			
維持・修繕	約400億円										約400億円																			
合計	約2,500億円										約2,500億円																			

第6章 長期施設整備方針の達成目標

[実績：平成26年度末]

大口径送配水管の更新(高級鉄管解消)	実績	0%	目標	100%
管路の耐震化率(湾岸埋立地域)	実績	30%	目標	100%
導水管の更新	実績	0%	目標	100%
浄水場カバー設置率	実績	24%	目標	100%
高度浄水処理導入率	実績	46%	目標	100%
浄水場施設の耐震化率(レベル2地震動対応)	実績	26%	目標	100%